



令和8（2026）年2月2日

春日井市  
高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社  
独立行政法人都市再生機構中部支社

## 春日井市、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社、UR都市機構が 「高蔵寺ニュータウンのまちづくり推進に関する連携協定」を締結

春日井市、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社、独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、高蔵寺ニュータウン及びその周辺地域（以下「高蔵寺エリア」）におけるまちづくりの更なる推進に3者が一丸となって取り組むため、令和8年1月30日に連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

今後3者は、これまでの取り組みを更に発展させながら、持続的なまちづくりの実現に共に取り組んでいきます。

（詳細は別紙を参照）



写真左より

竹内 英雄	UR都市機構中部支社長
石黒 直樹	春日井市長
高橋 利光	高蔵寺ニュータウンセンター開発 株式会社代表取締役社長

（お問い合わせ先）

春日井市

まちづくり推進部 ニュータウン創生課  
高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社  
UR都市機構 中部支社  
都市再生業務部 事業企画課  
総務部 総務・法務課（報道担当）

（電話）0568-85-6048

（電話）0568-92-1131

（電話）052-238-9881

（電話）052-238-9105

## 協定締結の背景及び目的

### 1 背景

高蔵寺ニュータウンは日本で最も早い時期に計画的に整備された大規模住宅地です。まちびらきから半世紀以上が経過し、良好な住環境を形成する一方で、少子高齢化や人口減少等の課題が生じています。

これらの課題に対応すべく、今まで取り組んできた「子育て」「交通」「住環境」「多世代共生・交流」「プロモーション」等の施策を引き続き推進するとともに、UR賃貸住宅の活用・再生やセンター地区の魅力向上に3者が一丸となって取り組み、高蔵寺エリアのまちづくりを更に発展させるため、連携協定を締結しました。

### 2 目的

本協定は、少子高齢化や人口減少等の諸課題を踏まえ、3者が一丸となってこれまでの取り組みを更に発展させることにより、高蔵寺エリアの価値向上を図り、持続的なまちづくりを共に実現することを目的とします。

### 3 連携・協力内容

- (1) 高齢者、子育て世代等の支援に関する事項
- (2) 子育て世代等の居住誘導に関する事項
- (3) コミュニティ形成及び良好な居住環境の維持向上に関する事項
- (4) 地域資源の活用等を通じた魅力づくり、地域ブランドの創造及び情報発信に関する事項
- (5) 多様な者の就労及び社会参加に関する事項
- (6) 新たな雇用の創出に関する事項
- (7) センター地区等における商業・サービスの活性化に関する事項
- (8) 環境に配慮したまちづくりの推進に関する事項
- (9) 交通機能の充実に関する事項
- (10) 防犯及び災害対策に関する事項
- (11) 民間の能力を活用した都市機能の充実に関する事項
- (12) 前各号に掲げるもののほか、上記目的を達成するために3者が協議の上、必要と認めた事項

### 4 今後の動向

時 期	概 要
令和8～9年度	3者を中心に（仮称）高蔵寺ニュータウンまちづくり新構想を策定
令和9年度～	新構想に基づくまちづくりの推進

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



—— 社会課題を、超えていく。——



UR都市機構

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

UR都市機構は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。